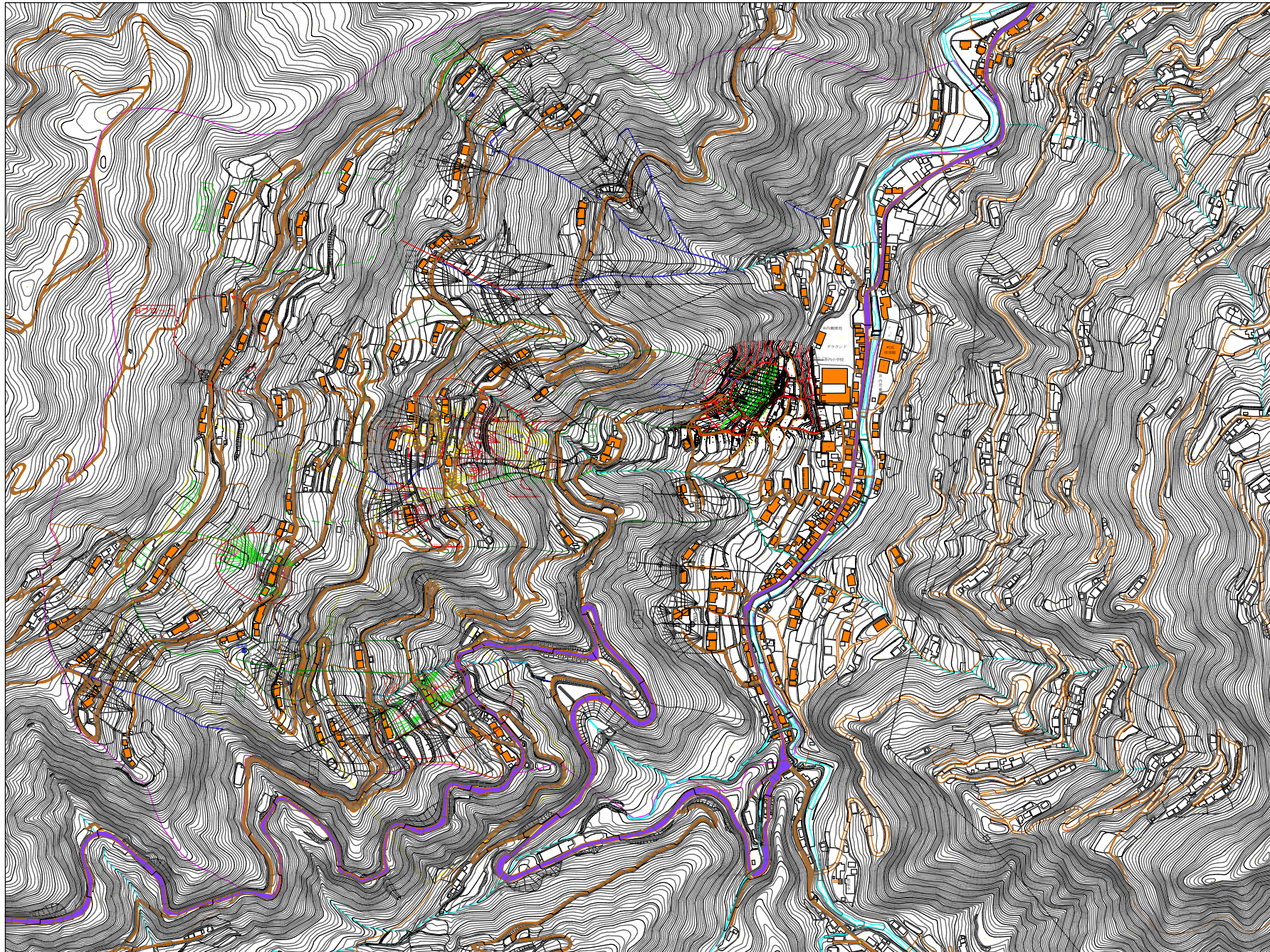


西浦調査平面図 S=1:6,000



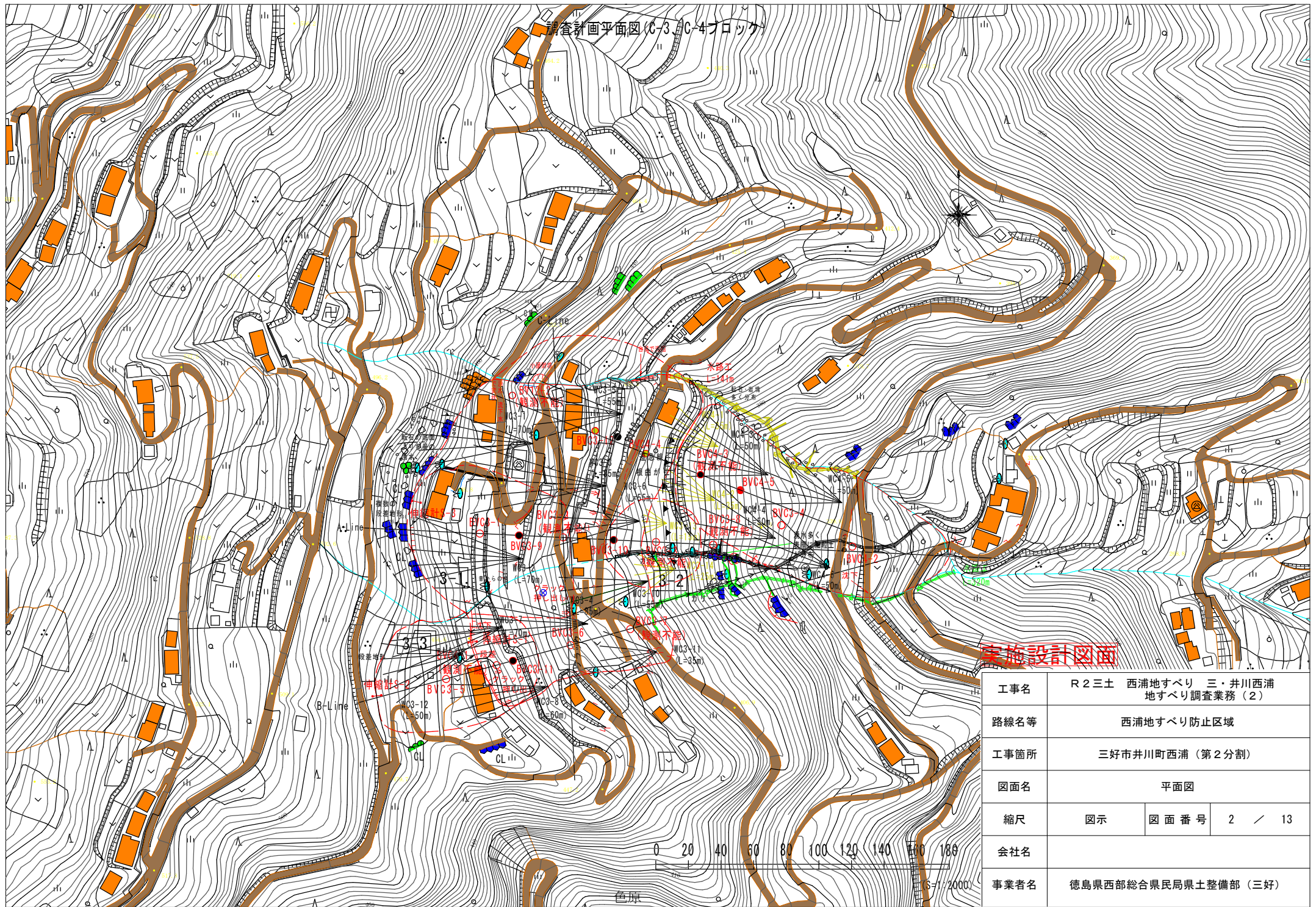
凡 例

-  本業務対象
地すべりブロック
-  既往調査ブロック
-  本業務対象調査孔
-  既往調査ボーリング孔
-  既設横ボーリング工
-  計画横ボーリング工
-  既設水路工
-  西浦地すべり
防止区域

実施設計図面

工事名	R2三土 西浦地すべり 三・井川西浦 地すべり調査業務(2)		
路線名等	西浦地すべり防止区域		
工事箇所	三好市井川町西浦(第2分期)		
図面名	全体平面図		
縮尺	図示	図面番号	1 / 13
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局土木整備部(三好)		

調査計画平面図(C-3、C-4ブロック)



実施設計図面

工事名	R2三土 西浦地すべり 三・井川西浦地すべり調査業務(2)		
路線名等	西浦地すべり防止区域		
工事箇所	三好市井川町西浦(第2分割)		
図面名	平面図		
縮尺	図示	図面番号	2 / 13
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部(三好)		

C-5ブロック調査位置平面図(S=1/1000)



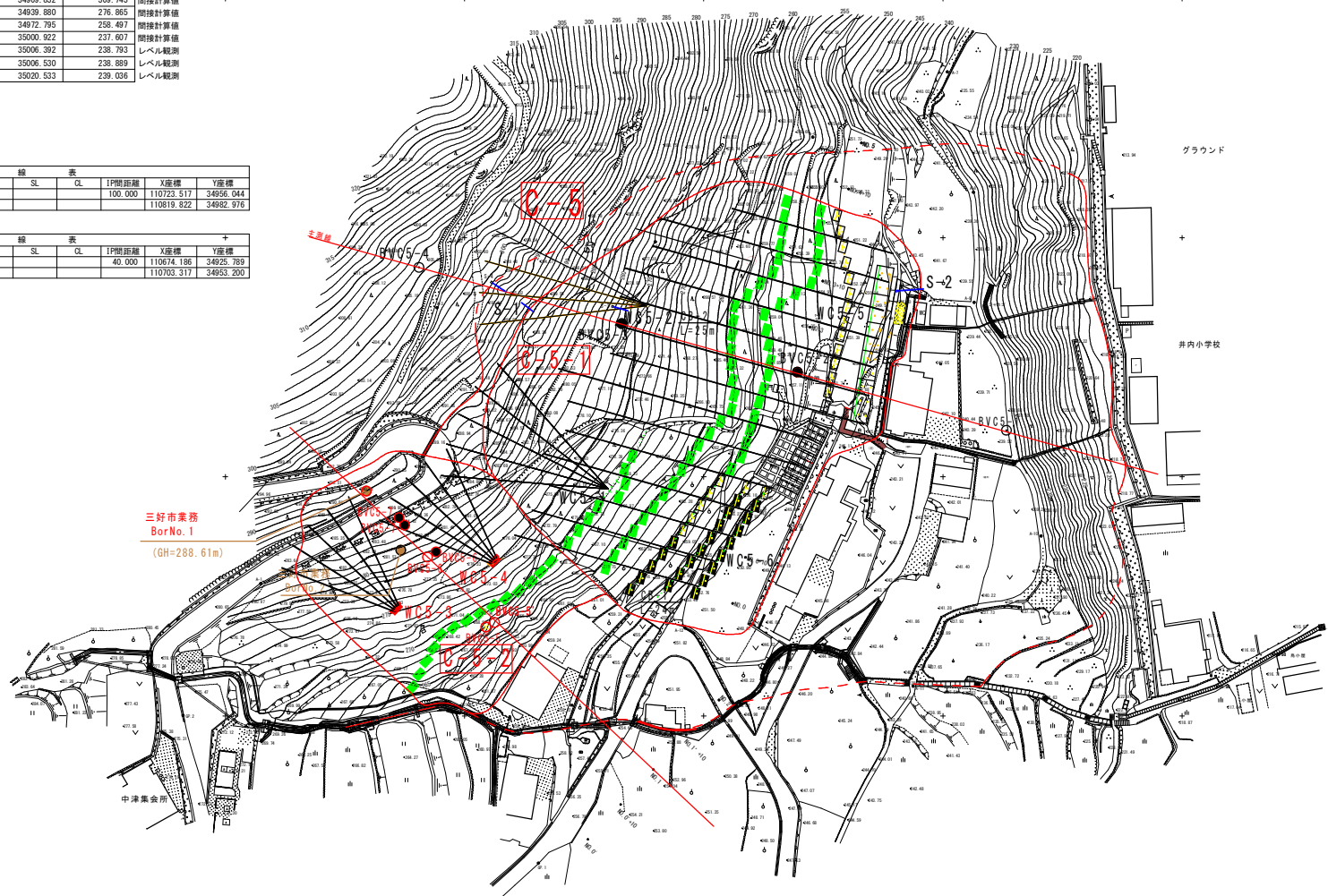
点名	X座標	Y座標	Z座標	
GP-1	110669.208	34915.439	257.605	GPS観測
GP-2	110700.101	34841.149	275.944	GPS観測
A-1	110727.688	34857.398	282.488	隣接計算値
A-2	110749.617	34896.547	288.576	隣接計算値
A-3	110785.391	34894.240	302.586	隣接計算値
A-4	110815.776	34909.622	309.743	隣接計算値
A-5	110799.143	34939.880	276.865	隣接計算値
A-6	110821.051	34972.795	258.497	隣接計算値
A-7	110834.678	35000.822	237.607	隣接計算値
A-8	110809.506	35006.392	238.793	レベル観測
A-9	110786.484	35006.530	238.889	レベル観測
A-10	110737.622	35020.533	239.036	レベル観測

C-5-1

IP	IP間方向角	IA	R	TL	SL	CL	IP間距離	X座標	Y座標
NO.0	15-37-26						100.000	110723.517	34956.044
NO.5							110819.822	34982.976	

C-5-2

IP	IP間方向角	IA	R	TL	SL	CL	IP間距離	X座標	Y座標
NO.0	43-15-27						40.000	110674.186	34925.789
NO.2							110702.317	34953.200	

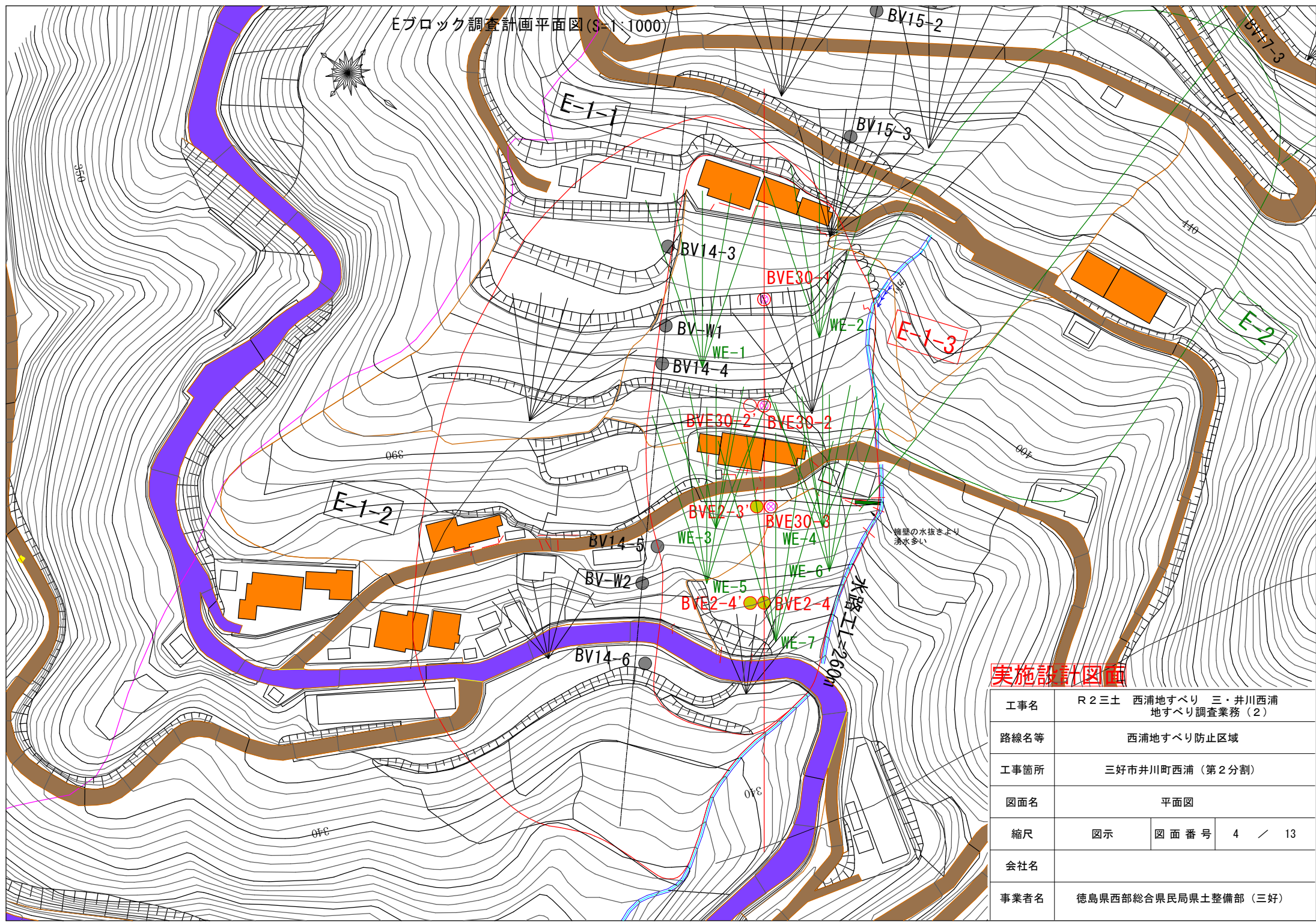


- 凡例
- 平成30年度以前の調査
 - 令和元年度調査
 - 令和2年度調査
 - 三好市の既往調査
 - S-2 地盤伸縮計
 - 既設横ボーリング工 (着色は調査孔と同じ)
 - 計画横ボーリング工
 - 対策アンカー工 (着色は調査孔と同じ)
 - 計画アンカー工
 - 水路工

実施設計図面

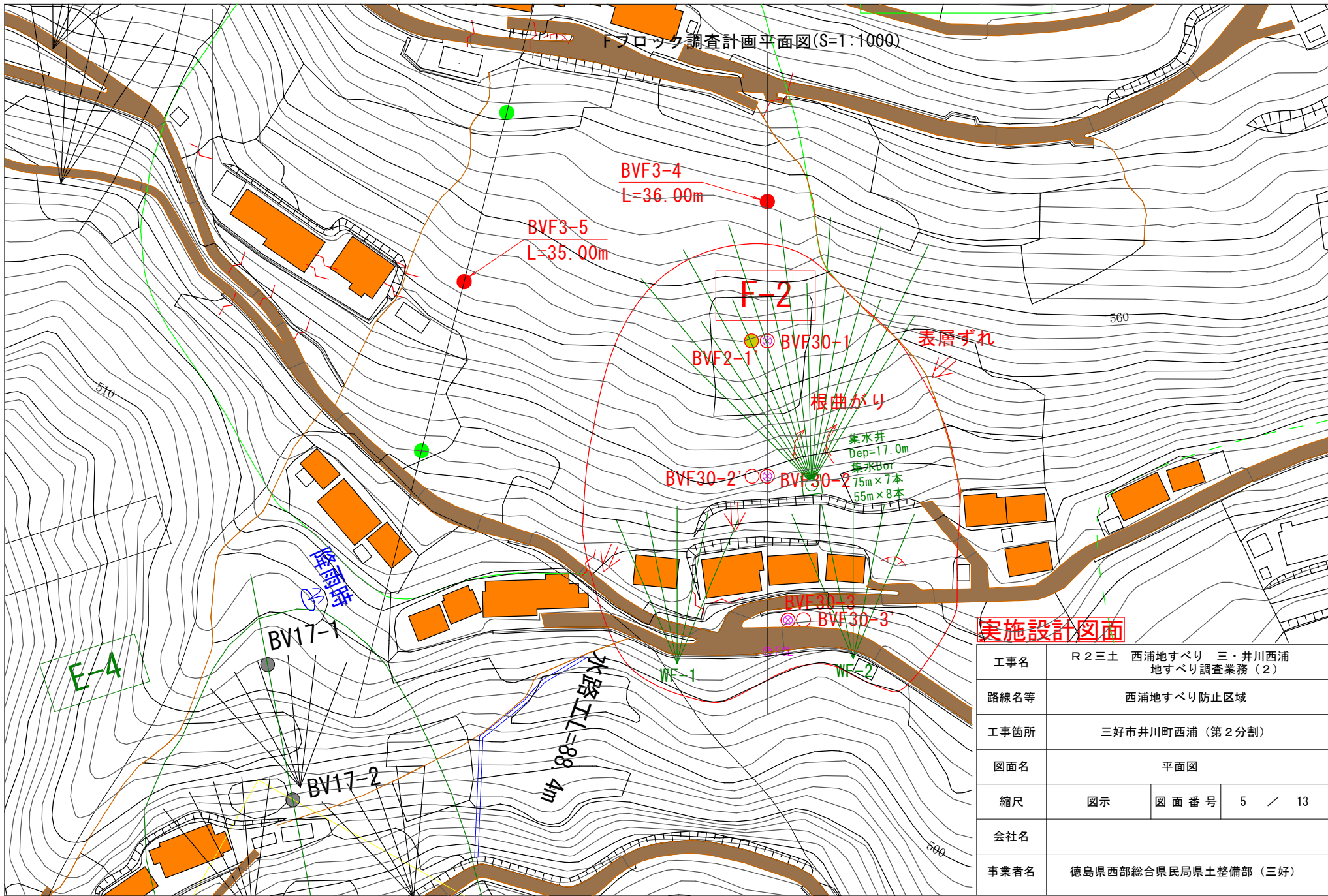
工事名	R2三土 西浦地すべり 三・井川西浦地すべり調査業務(2)
路線名等	西浦地すべり防止区域
工事箇所	三好市井川町西浦(第2分期)
図面名	平面図
縮尺	図示 図面番号 3 / 13
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部(三好)

Eブロック調査計画平面図(S-1:1000)



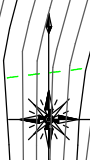
実施設計図面

工事名	R2土 西浦地すべり 三・井川西浦地すべり調査業務(2)		
路線名等	西浦地すべり防止区域		
工事箇所	三好市井川町西浦(第2分割)		
図面名	平面図		
縮尺	図示	図面番号	4 / 13
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部(三好)		



工事名	R2三土 西浦地すべり 三・井川西浦地すべり調査業務(2)		
路線名等	西浦地すべり防止区域		
工事箇所	三好市井川町西浦(第2分割)		
図面名	平面図		
縮尺	図示	図面番号	5 / 13
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部(三好)		

Hブロック調査計画位置図 (Sc=1:1,000)



凡例

- 地すべりブロック
- 調査ボーリング位置
- 崩壊
- ⚡ 亀裂

Hブロック

孔内傾斜計設置・観測
自記水位計設置・観測
Bor. No. 1
L=30.00m

孔内傾斜計設置・観測
自記水位計設置・観測
Bor. No. 2
L=26.00m

孔内傾斜計設置・観測
自記水位計設置・観測
Bor. No. 4
L=24.00m

孔内傾斜計設置・観測
自記水位計設置・観測
Bor. No. 3
L=28.00m

孔内傾斜計
ガイドパイプ

道路改良中に
崩壊

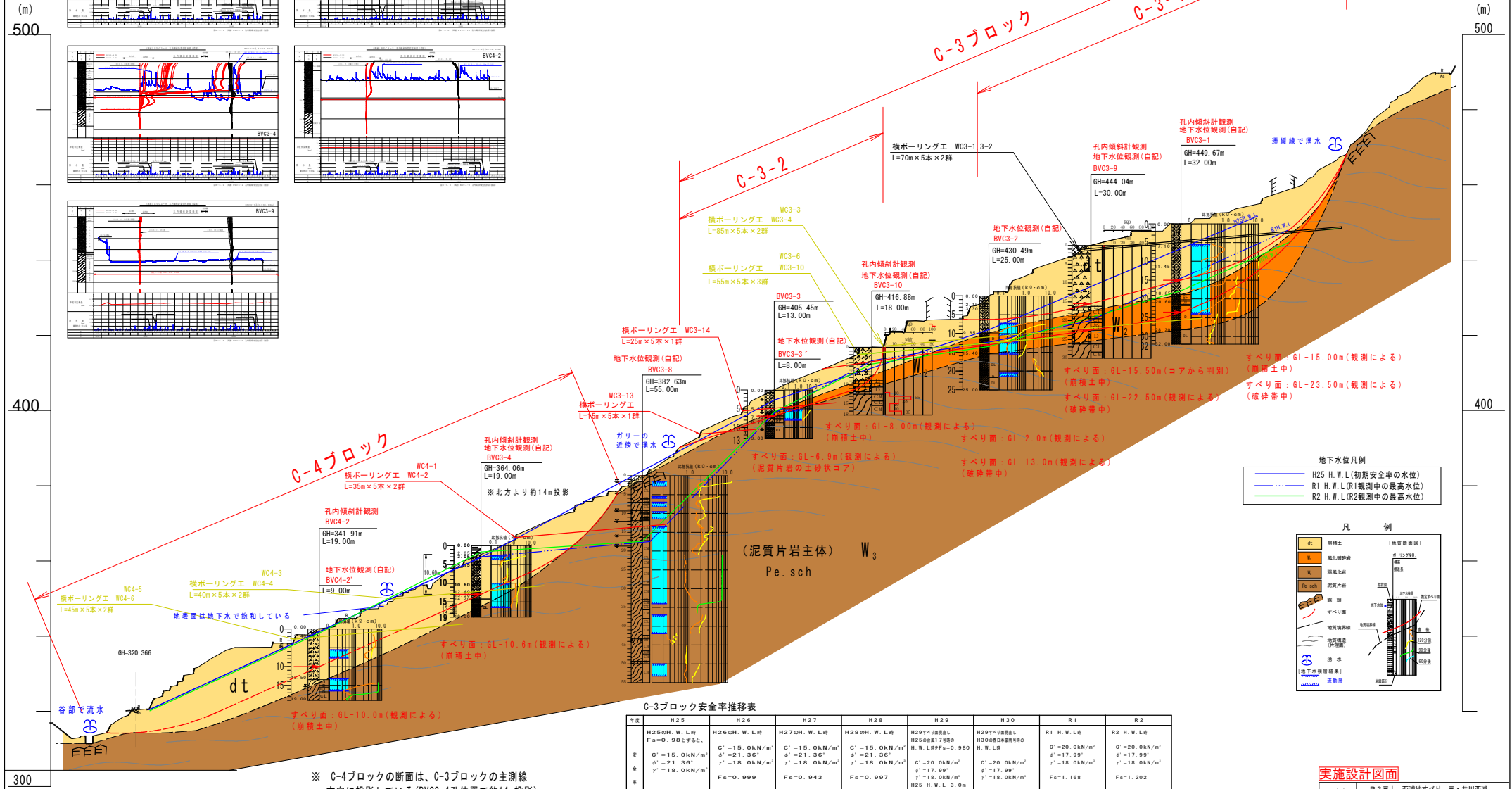
亀裂
ボックス内

地形が
下がる

実施設計図面

工事名	R2三土 西浦地すべり・三・井川西浦 地すべり調査事業 (2)		
路線名等	西浦地すべり防止区域		
工事箇所	三好市井川町西浦 (第2分割)		
図面名	平面図		
縮尺	図示	図面番号	6 / 13
会社名			
事業者名	徳島県西部総合振興局県土整備部 (三好)		

C-3, 4ブロック断面図(主測線) (S=1:1000)



※ C-4ブロックの断面は、C-3ブロックの主測線方向に投影している (BVC3-4孔位置で約14m投影)。

TP=290.000

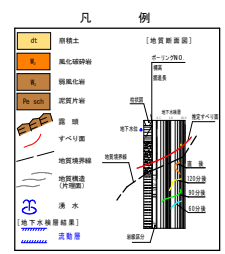
C-3ブロック安全率推移表

区画	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
安全率	H25GH, W, L, LR Fs=0.98とす。注。	H26GH, W, L, LR C' = 15.0kN/m ² φ' = 21.36° γ' = 18.0kN/m ³	H27GH, W, L, LR C' = 15.0kN/m ² φ' = 21.36° γ' = 18.0kN/m ³	H28GH, W, L, LR C' = 15.0kN/m ² φ' = 21.36° γ' = 18.0kN/m ³	H29GH, W, L, LR H25GH, W, L, LR H26GH, W, L, LR H, W, L, R, F, S = 0.980	H29GH, W, L, LR H30GH, W, L, LR H25GH, W, L, LR H, W, L, R, F, S = 0.980	H29GH, W, L, LR H30GH, W, L, LR H25GH, W, L, LR H, W, L, R, F, S = 0.980	R1 H, W, L, R C = 20.0kN/m ² φ = 17.99° γ' = 18.0kN/m ³	R2 H, W, L, R C = 20.0kN/m ² φ = 17.99° γ' = 18.0kN/m ³
安全率		Fs=0.999	Fs=0.943	Fs=0.997	C = 20.0kN/m ² φ = 17.99° γ' = 18.0kN/m ³	C = 20.0kN/m ² φ = 17.99° γ' = 18.0kN/m ³	Fs=1.168	Fs=1.202	
安全率					H25 H, W, L, R Fs=1.062 H29 H, W, L, R Fs=0.983	Fs=0.968			
安全率	WC3-7 70m 70m×5本	WC3-2 70m 70m×5本	WC3-1 70m 70m×5本	WC3-8 60m 60m×5本	WC3-4 80m 80m×5本 WC3-12 50m 50m×5本	WC3-6 55m 55m×5本	WC3-10 50m 50m×5本 WC4-3-WC4-6 50m 50m×5本×4本	WC3-13 15m 15m×5本 WC3-14 25m 25m×5本 WC4-1, WC4-2 35m 35m×5本×2本	



地下水位凡例

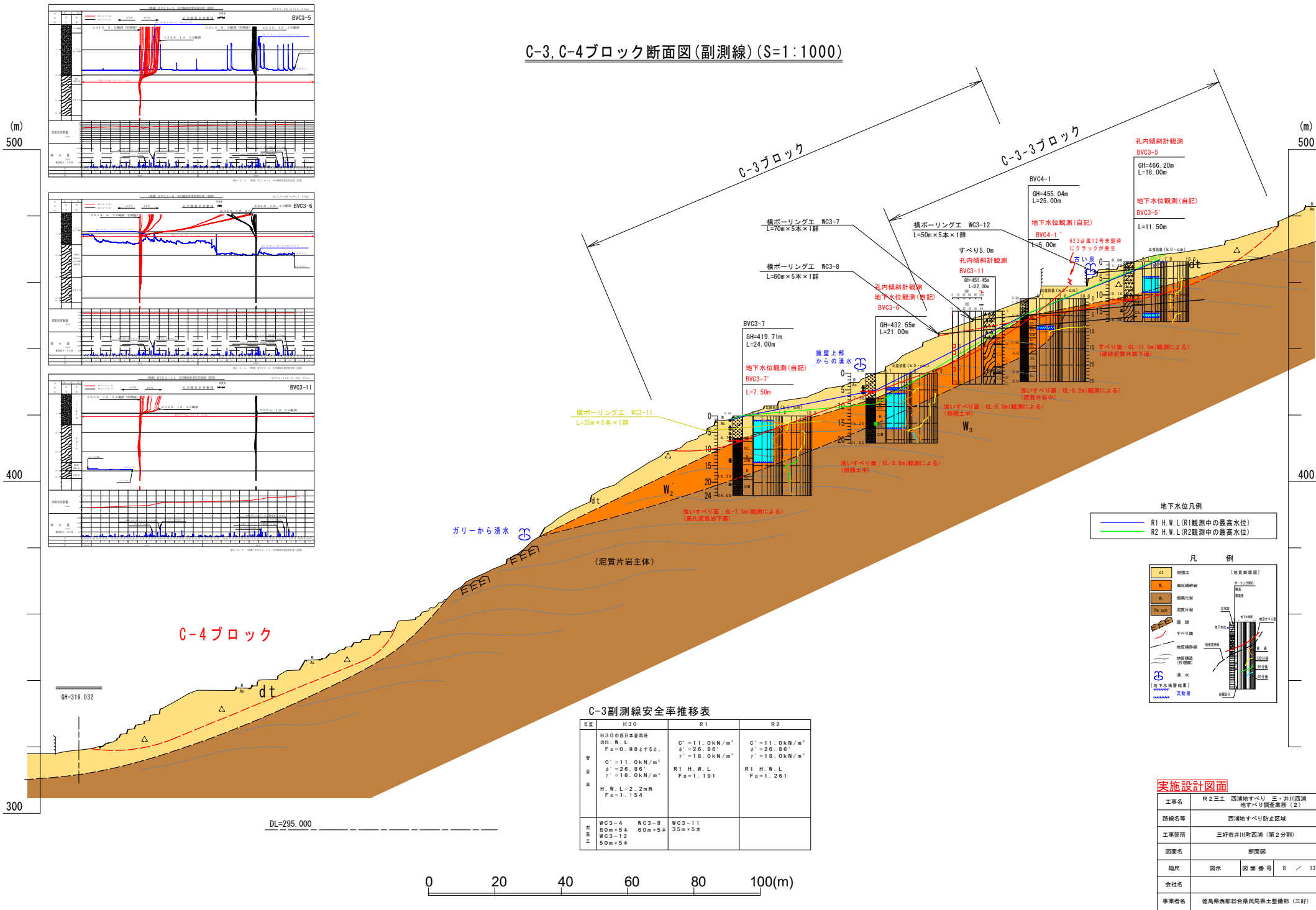
—	H25 H. W. L (初期安全率の水位)
—	R1 H. W. L (R1観測中の最高水位)
—	R2 H. W. L (R2観測中の最高水位)



実施設計図面

工事名	R2三土 西浦地すべり 三・井川西浦地すべり調査業務(2)
路線名等	西浦地すべり防止区域
工事箇所	三好市井川西浦(第2分割)
図面名	断面図
縮尺	図示 図面番号 7 / 13
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部(三好)

C-3, C-4ブロック断面図(副測線)(S=1:1000)

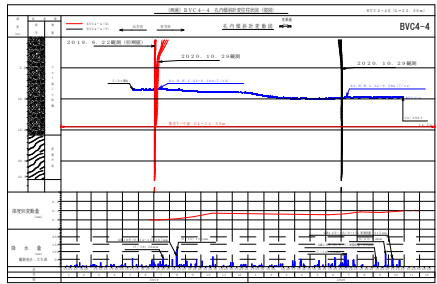
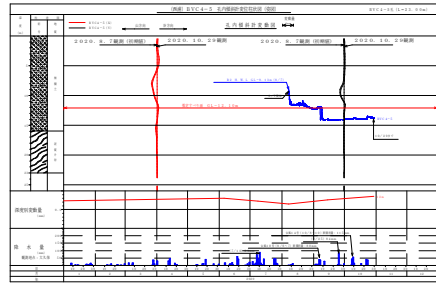
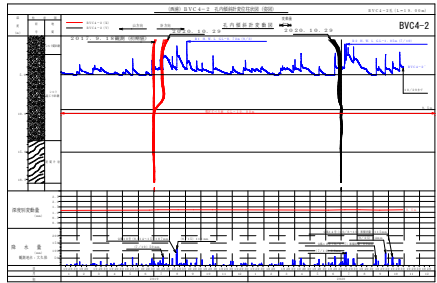
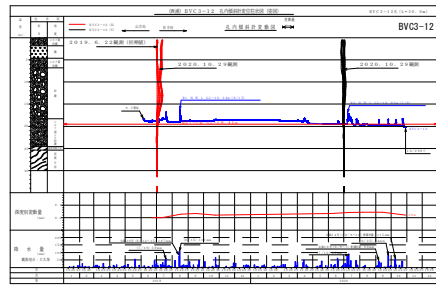
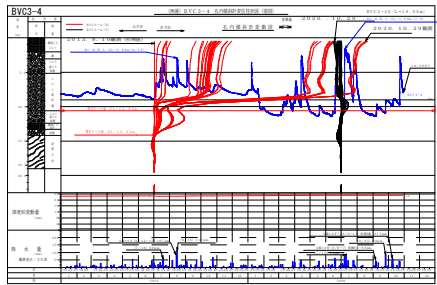


C-3副測線安全率推移表

年度	H30	R1	R2
H30の日本常用時のH.W.L.	$F_s=0.98$ 止り止り	$C'=11.0kN/m^2$ $\phi'=26.86^\circ$ $\gamma'=18.0kN/m^3$	$C'=11.0kN/m^2$ $\phi'=26.86^\circ$ $\gamma'=18.0kN/m^3$
安全率	$C'=11.0kN/m^2$ $\phi'=26.86^\circ$ $\gamma'=18.0kN/m^3$	R1 H.W.L. $F_s=1.191$	R1 H.W.L. $F_s=1.261$
工事	H.W.L.-2.2m時 $F_s=1.154$		
対策工	WC3-4 50m×5本 WC3-8 60m×5本	WC3-11 35m×5本	

実施設計図面

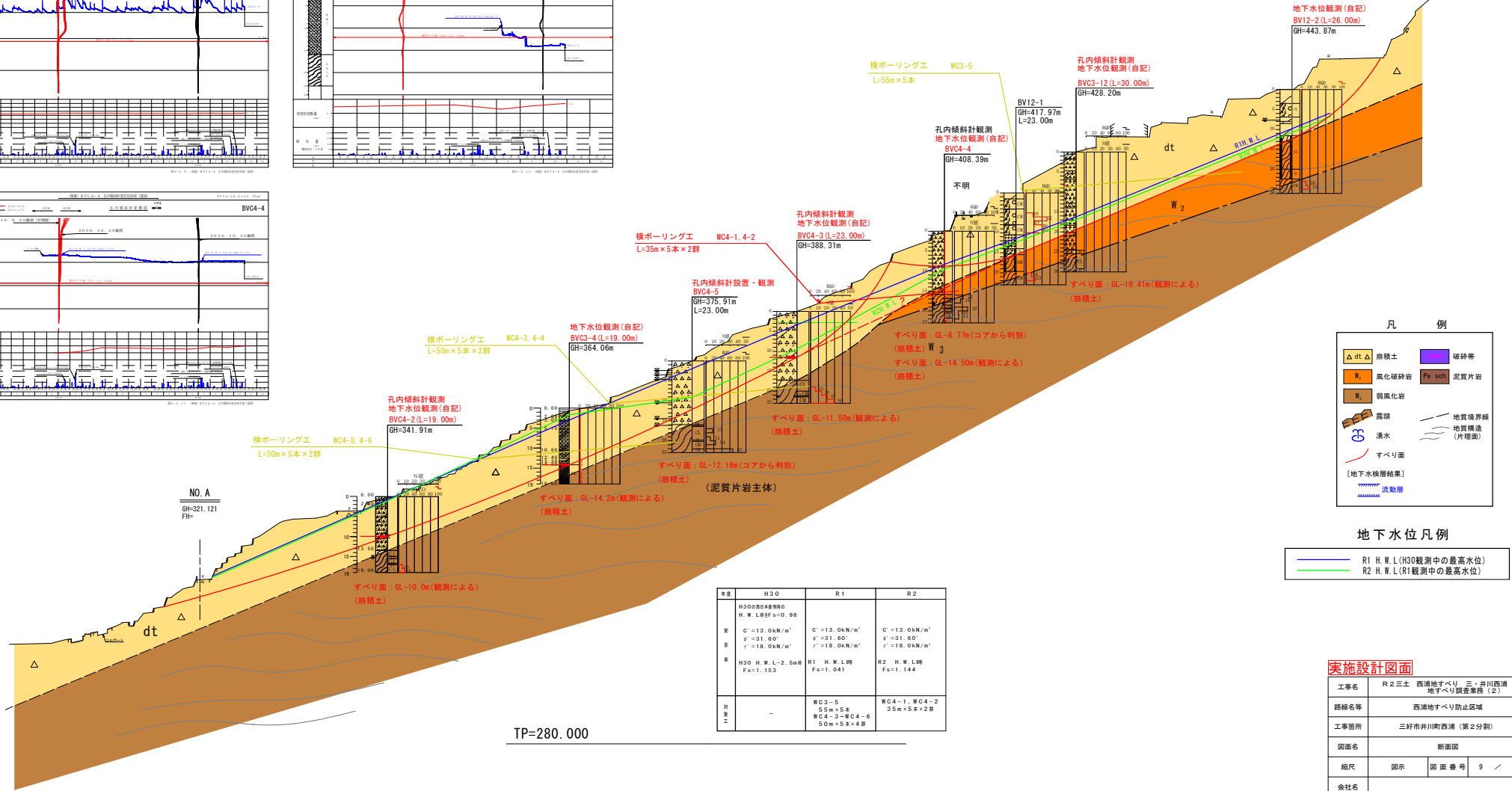
工事名	R2三土 西湖地すべり 三・井川西湖地すべり調査業務(2)
路線名等	西湖地すべり防止区域
工事箇所	三好市井川町西湖(第2分割)
図面名	断面図
縮尺	図示
図面番号	8 / 13
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局土木整備部(三好)



C-4ブロック断面図(主測線) (S=1:1000)

地すべり地質の区分 (参照明瞭による)

区分	名称	ボーリングコアの形状・色調	構成地質および性状
dt	崩積土	土砂状 褐色系	いわゆる広義の崩積土にて、凝結りローム、凝結り粘土、および硬質粘土・塊状粘土などの褐色系、色調は褐色系と主としてする。初期の崩積土はdt1、岩盤中における粘土状の塊状部はdt2、崩片～破片状の塊状部はdt3 (Disturbed rock) で表示する。
W1	強風化岩	土砂状 原岩色系	原岩系系の粘土・硬質粘土ならびにシルト、および未崩解の砂状を呈するもので、粘性土層については「崩解」を伴い、砂質土の場合は同一の構成土質であることを原則とする。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW1で表示する。
W2	風化破砕岩	崩片～破片状 原岩色系	原岩系系の崩片～破片状コア (中・古色層)、あるいはやや粗さの塊状コア (第三段階) として採取されるもので、地層構造では「crackly rock (亀裂に富む岩)」、あるいは軟弱基盤岩として観察される。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW2で表示する。
W3	弱風化岩	円板状～塊状 原岩色系	原岩系系の円板状～塊状コア (中・古色層)、あるいはよく崩さずの塊状コア (第三段階) として採取されるもので、地層構造では新鮮な基盤岩として観察される。この場合も褐色系の場合はW3で表示する。
R1	基盤岩	塊状 (完全コア) 原岩色系	新鮮な基盤岩にて、岩質のいずれを問わず塊状 (完全コア) として採取され、全般的に硬質なもの。



凡例

△ dt	崩積土	■	破砕帯
W1	強風化岩	■	泥質片岩
W2	風化破砕岩	■	弱風化岩
W3	弱風化岩	■	露頭
○	湧水	---	地質境界線
—	すべり面	---	地質構造 (片理面)
—	地下水検層結果	---	流動層

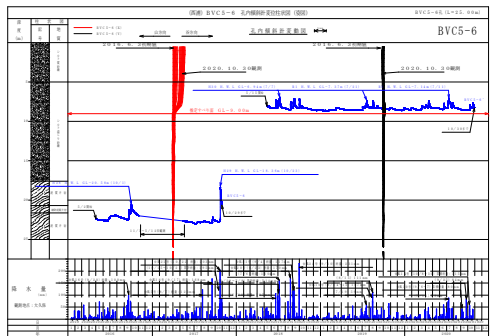
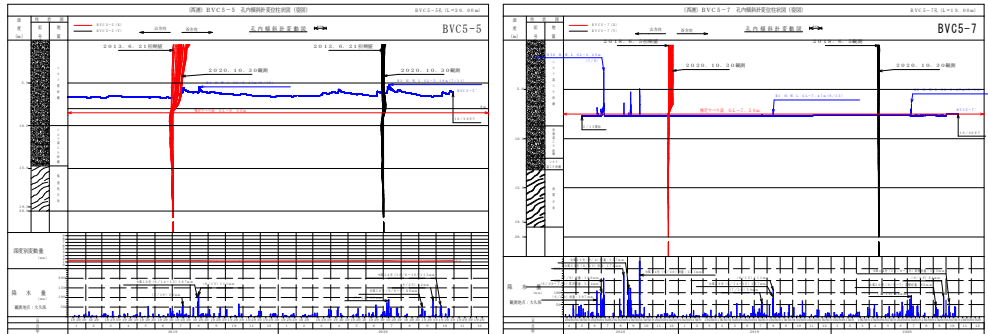
地下水凡例

—	R1 H.W.L (H30観測中の最高水位)
—	R2 H.W.L (R1観測中の最高水位)

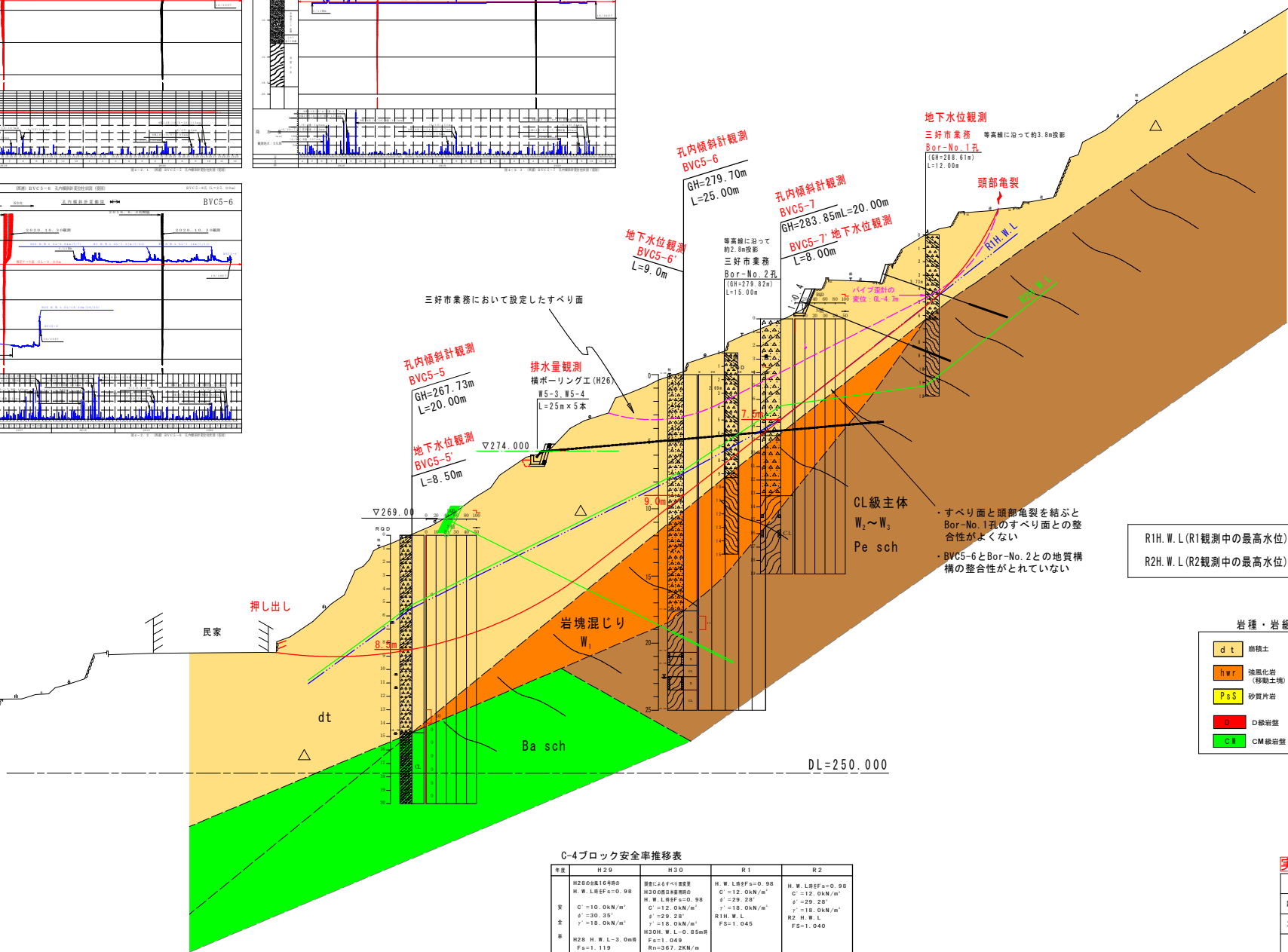
単位	H30	R1	R2
H30地すべり防止区域 H.W.L 観測点番号	H.W.L 観測点番号	H.W.L 観測点番号	H.W.L 観測点番号
変	C' = 13.0kN/m ² φ = 31.60° γ = 18.0kN/m ³	C' = 13.0kN/m ² φ = 31.60° γ = 18.0kN/m ³	C' = 13.0kN/m ² φ = 31.60° γ = 18.0kN/m ³
全			
率	H30 H.W.L-2.5m 層 F=1.103	R1 H.W.L 層 F=1.041	R2 H.W.L 層 F=1.144
別		WC3-5	WC4-1, WC4-2
工		55m×5本 WC4-3 35m×4-6 50m×5本×4群	35m×5本×2群

実施設計図面

工事名	R2三土 西浦地すべり 三・井川西浦 地すべり調査業務 (2)
路線名等	西浦地すべり防止区域
工事箇所	三好市井川町西浦 (第2分期)
図面名	断面図
縮尺	図示 図面番号 9 / 13
会社名	
事業者名	徳島県西部総合市民局土木整備部 (三好)



C-5-2ブロック解析断面図(S=1:300)



R1H. W. L (R1観測中の最高水位)
 R2H. W. L (R2観測中の最高水位)

岩種・岩級区分 凡例

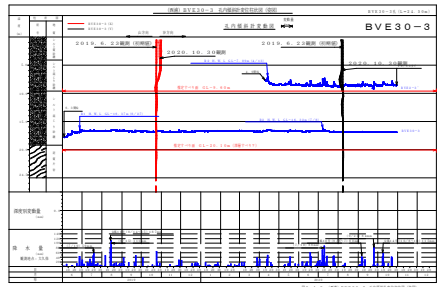
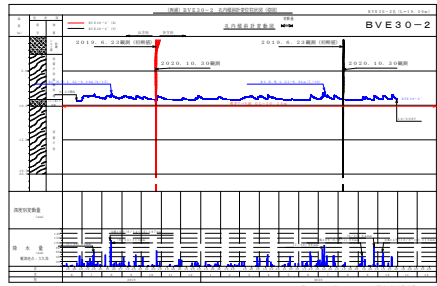
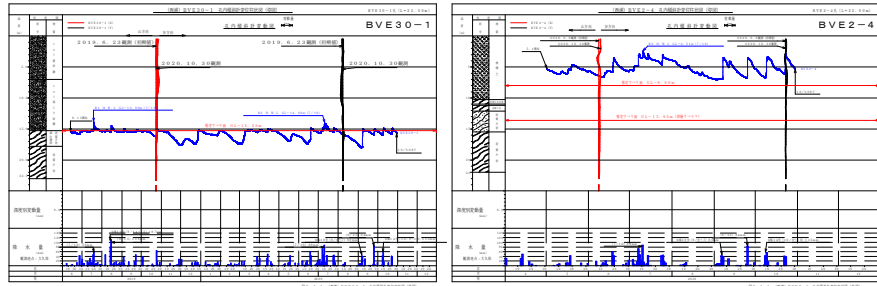
dt	崩積土	tr	段丘堆積物
hwr	強風化岩 (移動土塊)	PeS	泥質片岩
PsS	砂質片岩	BaS	塩基性片岩
D	D級岩盤	CL	CL級岩盤
CM	CM級岩盤		

C-4ブロック安全率推移表

断面	H29	H30	R1	R2
安全率	H29 H. W. L REF=0.98 C'=10.0kN/m² φ'=20.25° γ'=18.0kN/m³	H30 H. W. L REF=0.98 C'=12.0kN/m² φ'=20.25° γ'=18.0kN/m³	R1 H. W. L REF=0.98 C'=12.0kN/m² φ'=20.25° γ'=18.0kN/m³ FS=1.045	R2 H. W. L REF=0.98 C'=12.0kN/m² φ'=20.25° γ'=18.0kN/m³ FS=1.040
土質	H29 H. W. L-3.0m Fs=1.119 H29 H. W. L Fs=0.980	H30 H. W. L-0.85m Fs=1.049 Rn=267.2kN/m H30 H. W. L-3.0m Fs=1.158		
地質	-	-	-	-

実施設計図面

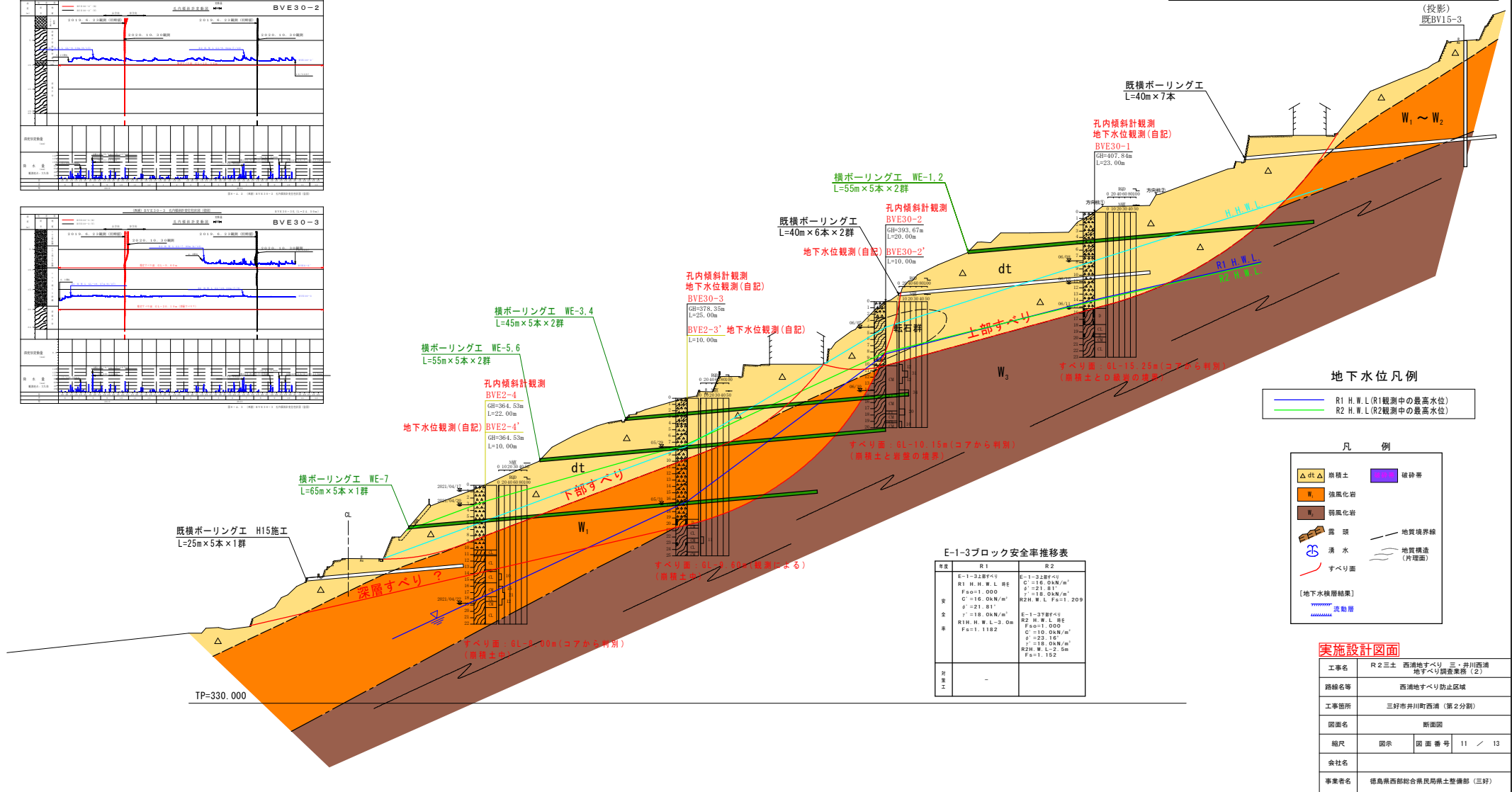
工事名	R2土3 西浦地すべり 三・井川西浦地すべり調査業務(2)
路線名等	西浦地すべり防止区域
工事箇所	三好市井川町西浦(第2分期)
図面名	断面図
縮尺	図示 図面番号 10 / 13
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部(三好)



Eブロック調査計画断面図(S=1:600)

地すべり地質の区分 (参照明瞭による)

区分	名称	ボーリングコアの形状・色調	構成地質および性状
dt	崩壊土	土砂状 褐色系	いわゆる広義の崩壊土にて、崩壊シローム、崩壊じり粘土、および硬質粘土・擾乱粘土などの褐色部、色調は褐色を主色調とする。旧期の崩壊土はDr、岩盤中における粘土状の擾乱部はDc、細片～破片状の擾乱部はDr (Disturbed rock) で表示する。
W ₁	強風化岩	土砂状 原岩色系	原岩色系の粘土・硬質粘土ならびにシローム、および未固結の砂状を呈するもので、粘性土層については「岩組織」を喪失し、砂質土の場合は同一の構成土質であることを原則とする。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW ₁ で表示する。
W ₂	風化破砕岩	細片～破片状 原岩色系	原岩色系の細片～破片状コア (中・古生層)、あるいはやや締まった塊状コア (第三紀層) として採取されるもので、地表踏査ではCracky rock (亀裂に富む岩)、あるいは軟質基盤岩として観察される。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW ₂ で表示する。
W ₃	弱風化岩	円板状～塊状 原岩色系	原岩色系の円板片～塊状コア (中・古生層)、あるいはよく締まった塊状コア (第三紀層) として採取されるもので、地表踏査では新鮮な基盤岩として観察される。この場合も褐色系のものにはW ₃ で表示する。
Rf	基盤岩	塊状 (完全コア) 原岩色系	新鮮な基盤岩にて、岩質のいずれを問わず塊状 (完全コア) として採取され、全般的に硬質なものを。



E-1-3ブロック安全率推移表

要素	R1	R2
安全率	E=1-3.28F<4 R1: H.W.L. SE F=0.1, 0.00 C=16.0kN/m ² φ=21.81° γ=18.0kN/m ³ R1H: H.W.L.-3.0m F=0.1, 1.62	E=1-3.28F<4 C=16.0kN/m ² φ=21.81° R2H: W.L. F=1.209 E=1-3.28F<4 R2: H.W.L. SE F=0.1, 0.00 C=16.0kN/m ² φ=21.81° R2H: W.L.-2.5m F=0.1, 1.62

地下水位凡例

— R1 H.W.L. (R1観測中の最高水位)
— R2 H.W.L. (R2観測中の最高水位)

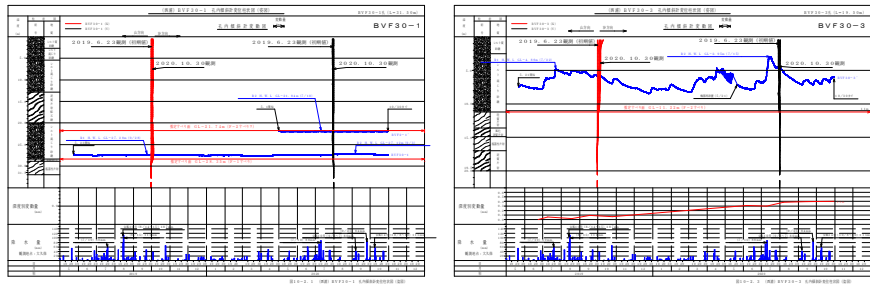
凡例

△ dt	崩壊土	■	破砕帯
■ W ₁	強風化岩	—	地質境界線
■ W ₂	風化破砕岩	—	地質構造 (片理面)
○	露頭	—	すべり面
○	湧水	—	流動帯

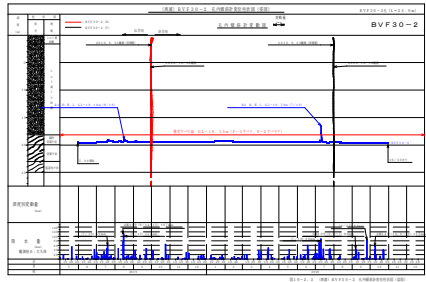
[地下水検閲結果]

実施設計図面

工事名	R2三土 西浦地すべり 三・井川西浦地すべり調査業務 (2)
路線名等	西浦地すべり防止区域
工事箇所	三好市井川町西浦 (第2分期)
図面名	断面図
縮尺	図示
図面番号	11 / 13
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 (三好)

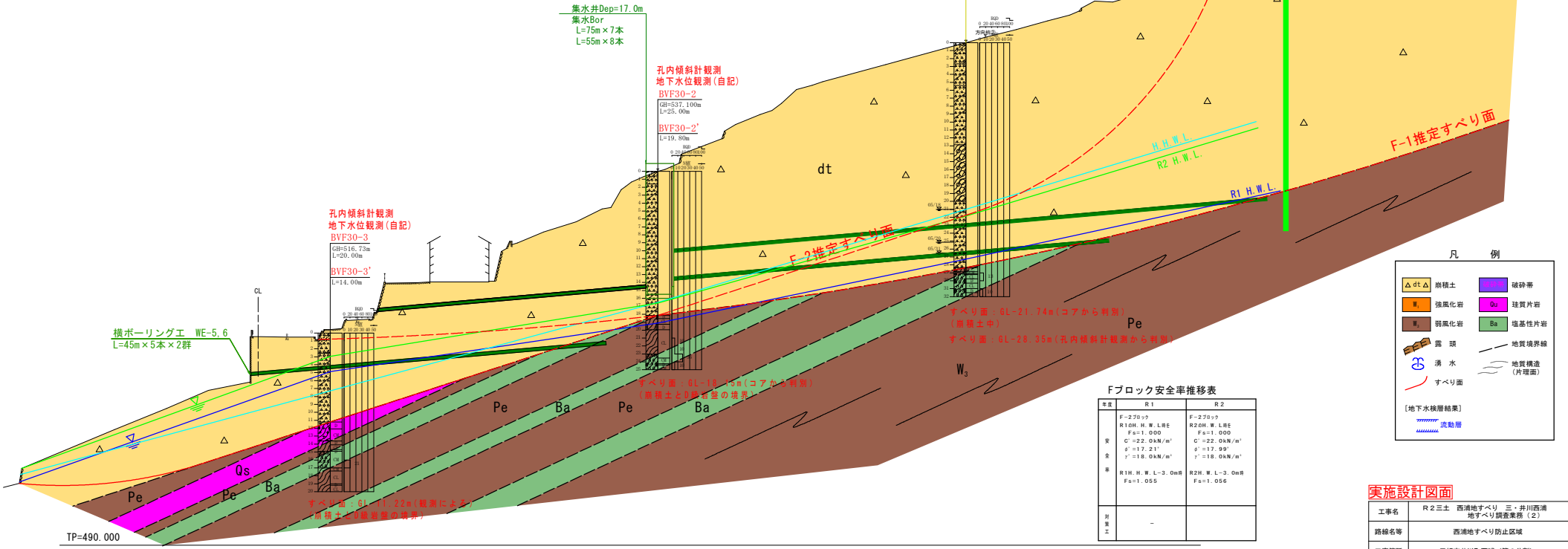


Fブロック調査計画断面図(S=1:500)



地すべり地質の区分 (藤原明敏による)

区分	名称	ボーリングコアの形状・色調	構成地質および性状
dt	崩壊土	土砂状 褐色系	いわゆる広義の崩壊土にて、崩壊じりコロム、凝結じり粘土、および硬質粘土・塊状粘土などの褐色系、色調は褐色を主色とする。旧期の崩壊土はDr、岩盤中における粘土状の塊状崩壊土はDc、細片～破片状の塊状崩壊土はDdr (Disturbed rock) で表示する。
W ₁	強風化岩	土砂状 原岩色系	原岩色系の粘土・硬質粘土ならびにシルト、および未固結の砂状を呈するもので、粘性土類については「岩組織」を保存し、砂質土の場合は同一の構成土質であることを原則とする。この場合、仮に色調が褐色である場合はW ₁ 'で表示する。
W ₂	風化破砕岩	細片～破片状 原岩色系	原岩色系の細片～破片状コア (中・古生層)、あるいはやや締まった棒状コア (第三紀層) として採取されるもので、地表踏査ではCracky rock (亀裂に富む岩)、あるいは軟質基盤岩として観察される。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW ₂ 'で表示する。
W ₃	弱風化岩	円板状～塊状 原岩色系	原岩色系の円板片～塊状コア (中・古生層)、あるいはよく締まった棒状コア (第三紀層) として採取されるもので、地表踏査では新鮮な基盤岩として観察される。この場合も褐色系の場合はW ₃ 'で表示する。
Rf	基盤岩	棒状 (完全コア) 原岩色系	新鮮な基盤岩にて、岩質のいずれを問わず棒状 (完全コア) として採取され、全般的に硬質なもの。



Fブロック安全率推移表

項目	R1	R2
F=270°	F=270°	F=270°
R10M: W, LBE	R20M: W, LBE	R20M: W, LBE
Fs=1.000	Fs=1.000	Fs=1.000
C'=22.0kN/m ²	C'=22.0kN/m ²	C'=22.0kN/m ²
φ'=17.21°	φ'=17.99°	φ'=17.99°
γ'=18.0kN/m ³	γ'=18.0kN/m ³	γ'=18.0kN/m ³
R1M: W, L-3.0m	R2M: W, L-3.0m	R2M: W, L-3.0m
Fs=1.055	Fs=1.056	Fs=1.056

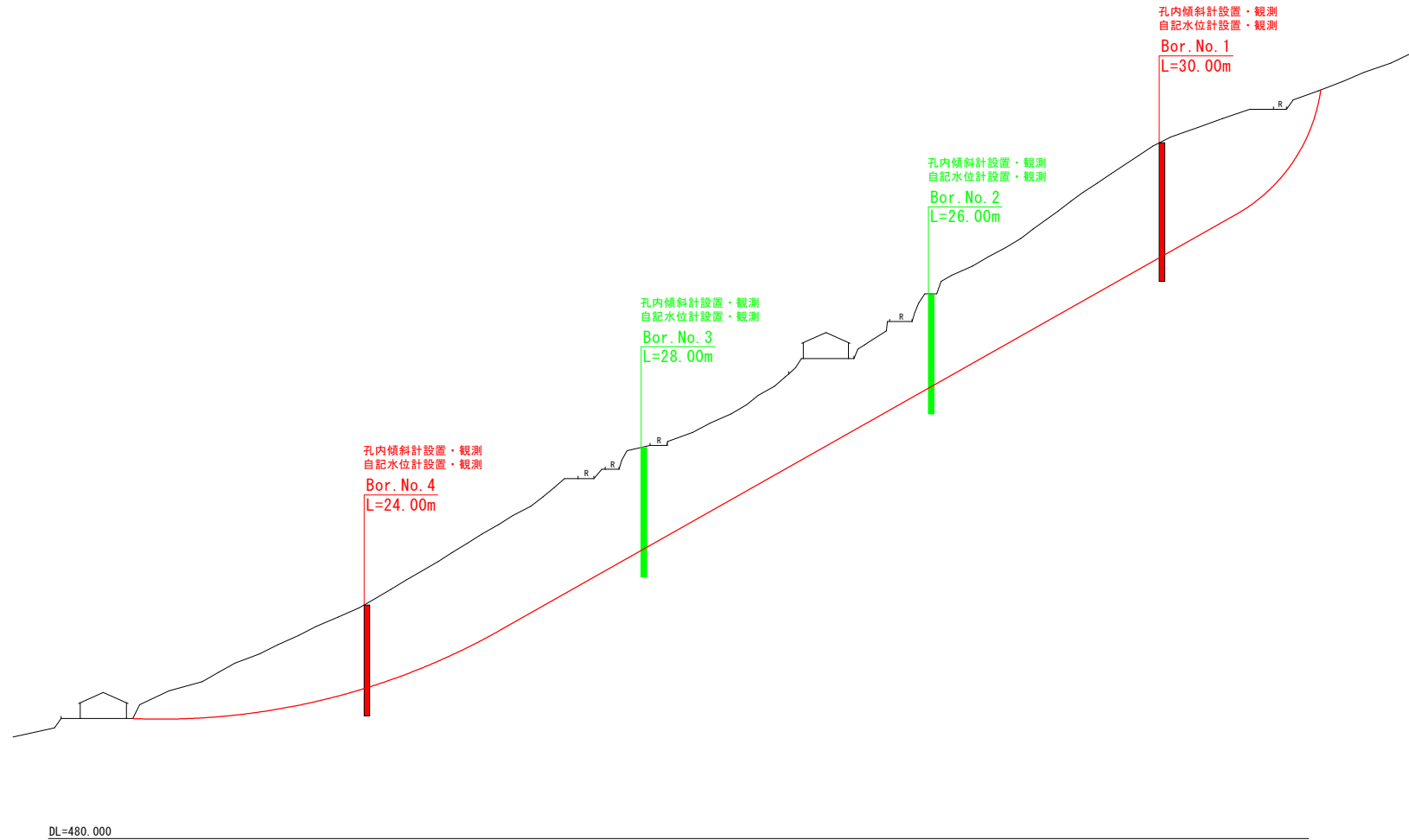
凡例

- △ dt 崩壊土
- W 強風化岩
- W₂ 風化破砕岩
- W₃ 弱風化岩
- 露頭
- 湧水
- すべり面
- 破砕帯
- 珪質片岩
- 塩基性片岩
- 地質境界線
- 地質構造 (片理面)
- 地下水観測結果
- 流動帯

実施設計図面

工事名	R2三土 西浦地すべり 三・井川西浦 地すべり調査業務 (2)
路線名等	西浦地すべり防止区域
工事箇所	三好市井川西浦 (第2分期)
図面名	断面図
縮尺	図示 図面番号 12 / 13
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 (三好)

Hブロック調査計画断面図 (Sc=1:1,000)



実施設計図面

工事名	R2三土 西浦地すべり 三・井川西浦地すべり調査業務(2)		
路線名等	西浦地すべり防止区域		
工事箇所	三好市井川町西浦(第2分期)		
図面名	断面図		
縮尺	図示	図面番号	13 / 13
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部(三好)		